

第17期 南相馬放射線量測定プロジェクトのご案内

2011年6月から始めた南相馬市の空間線量率測定とそれに基づく汚染マップ作製は、2019年4月で17回目を迎えます。年間追加外部被曝線量が年間1ミリ・シーベルト未満の面積は、2011年6月には5%程度しかありませんでしたが、2018年10月(第16回測定)では92%に拡大し、外部被曝に関しては大幅な改善が見られます。しかし第16回の測定で採取した土壌の分析の結果は、空間線量の結果とは異なり、土壌中の放射性セシウムの濃度が依然として高い事が分かりました。この原因は放射性セシウムの土壌沈下で、土壌中にはあっても土壌の遮蔽効果で空間線量が下がったとみられます。こうした変化はこれからも継続すると考えられ、今後も継続的な測定が必要です。この継続的定点観測測定活動は汚染地域の住民の方々の生活環境や今後を考えるうえで大変貴重な活動です。この活動をどうか支えて頂きたい、この度も測定隊へのご参加をお願いする次第です。

<募集要項>

・実施日時 第34次 2019年4月5日(金)～4月8日(月)

第35次 2019年4月19日(金)～4月22日(月)

・集合場所 放射能測定センター・南相馬(とどけ鳥事務所)(※第34次、第35次とも)

〔住所〕〒975-0031 南相馬市原町区錦町2-67(スーパー・サイヤ隣)

〔Tel/Fax〕0244-24-5166(とどけ鳥事務所電話)

※各自現地集合をお願いいたします。交通費は参加者でご負担ください。

尚、ご不明な点は南相馬市の「放射能測定センター・南相馬(とどけ鳥事務所)」へご連絡をお願いいたします。(開所日は火～金10:00～16:00)

担当: 神野英樹 090-5616-9871(携帯)

・集合時間 第34次、第35次ともに、金曜日の17時30分(とどけ鳥事務所)

・参加費用 無料(宿泊代のご負担はありません)

・宿泊先 宿泊先は以下の2つの宿の予定ですが、現時点で詳細が決まっていないのでお申し込みの方には、後日ご連絡いたします。

〔宿名〕「双葉屋旅館」

〔宿名〕「松の湯旅館」

〔住所〕〒979-2121

〔住所〕〒975-0003

福島県南相馬市小高区東町1-40

福島県南相馬市原町区栄町1-59

〔Tel/Fax〕0244-32-1618

〔Tel/Fax〕0244-23-3235

・応募方法 下記メール、又は電話・FAX宛に必要な事項をお知らせ頂き、ご応募下さい。

<NPO法人 チェルノブイリ救援・中部事務局宛のメールおよび電話・FAX>

●メールアドレス: chqchubu@muc.biglobe.ne.jp

●電話・FAX : 052-228-6813(月・水・金の10時～17時)

※FAXは、24時間、毎日受け付け可能です。

●必要事項 お名前、ご住所、電話(FAX)又はメールアドレス、年齢、参加する日(第34次又は、第35次)

◇募集期間◇ 3月29日(金)まで。但し、募集人員に達しましたら締め切りになります。

◇募集人員◇ 第34次、第35次 各12名。

★名古屋から現地までの交通ルートのご案内が必要な方は、ご一報ください。

<測定隊事前準備について>

参加者は、まず決められた時間に放射能測定センター・南相馬に集合します（表面に記載）。集合後、センタースタッフが測定器の使い方と測定隊全般についての詳細説明をします。その際わからないことや心配な事など遠慮なくご質問ください。

測定はガイガーカウンターによる空間線量率（ μ SV/時）です。また、土壌中の放射能測定をセンターで行うため、指定されたところの土壌を採取します。

<測定隊の実務>

- (1) 南相馬の現地の方1名と測定隊参加者1名で1チームとし、現地の方に運転して頂き、自動車です測定地点を移動します。1日1チームで約35地点を測定。終了は早ければ昼過ぎ、遅くとも15時頃には終わります。測定後の集合場所はその都度担当がお知らせします。
- (2) 測定地点は予めセンタースタッフが決定し測定地図に記入。それを持って現地の方に案内して頂きます。
- (3) 測定場所に到着したら、1チームに2台渡された測定器で地上1mと1cmの空間線量率を測定します。測る際に必要な道具も渡されるので、それを利用して測定します。測定方法は予め説明があるので心配ありません。
- (4) 土壌測定のための土壌採取は各チーム5か所程。採取場所は地図に記入されています。この測定に必要な道具類、マスク、軍手、ビブス（チョッキ）は出発前に各組に渡すので各自準備の必要はありません。
- (5) 空間線量率の高い場所の測定は、タイベック（防護服）と靴の上に履くシューズカバーを用意してあるので、それを着用します（浪江、富岡など）。但し、初めての方は高線量の場所の測定はしません。
- (6) 各自準備するものは、雨天時の雨具や寒暖調整の衣服、下着などです。
- (7) 昼食は各自店で調達するか、飲食店でとります。チームで相談してください。
- (8) 測定後は現地の方々は解散。参加者の方々は放射能測定センターに集まり靴を洗います。その後、被災地の各所を視察します。視察場所は、センターで決めてあり、センター関係者の案内で向かいます。視察後は宿に帰り、食事、交流会などを行います。
- (9) 測定作業完了後の2日目に帰る方は、測定終了後一旦測定センターに戻り、その後解散します。

測定隊の予定

金曜日	放射能測定センター・南相馬に集合 説明会
土曜日	測定1日目
日曜日	測定2日目（夕食時：ごくろうさま会予定）
月曜日	朝食後解散